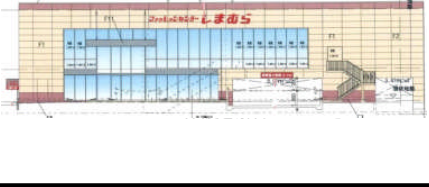


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ファッションセンターしまむら 堺八田	階数	地上2F
建設地	大阪府堺市	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし 法22条地域	平均居住人員	50人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2015年3月15日
敷地面積	2,627 m ²	作成者	野村 茂
建築面積	1,248 m ²	確認日	2015年3月25日
延床面積	2,428 m ²	確認者	野村 茂



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	184
②建築物の取組み	46
③上記+②以外の	92
④上記+	138

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

音環境	2.6
温熱環境	2.5
光・視環境	3.0
空気質環境	3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

機性	2.7
耐用性	2.6
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・敷地外環境	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	2.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

水資源	3.0
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.5

地球温暖化	3.4
地域環境	2.0
周辺環境	2.1

3 設計上の配慮事項		
総合 1: 当該建物は商業施設で工業地域内にあるが、周辺は沿道に商業施設が林立している。道路よりセットバックした配置とし、建築物の効率的な配置とした。又密集する市街地に建設するため周囲に騒音等の影響を えるために屋根に設備機器を配置し周囲境界から10m離隔を基準に機器配置を行った。 限られた空地には必要な緑地を設け緑の環境にも配慮した。	その他 1: 特になし	
Q1 室内環境 1: 空調方式としては空気熱源ヒートポンプ方式 (EHP) とし、ゾーン毎に空調が制御できるようにしている。	Q2 サービス性能 1: 配管材料などはほぼ全て (C) 以上のランクを仕様している。	Q3 室外環境(敷地内) 1: 密集した市街地に建設するため限られた空地には必要な緑地を設けた。
LR1 エネルギー 1: 空調方式として空気熱源ヒートポンプ方式 (EHP) を採用している。	LR2 資源・マテリアル 1: 大機器・小機器は節水型を使用している。	LR3 敷地外環境 1: 照度・輝度を与える範囲に適正な設定を行い外部にあまり影響を与えない様に考慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性 評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	ファッションセンターしまむら 堺八田店 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市中区毛穴町180-1、八田寺町465-5、472-4	0.8	B-
	主用途/延床面積	物販店 / 2,427.99 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.4	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	2.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		0.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		2.5	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		4.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	